

かみにし 「上西すこやかクラブ」

西之表市西之表 2883

発表者：長野道雄

こんにちは。この度はこのようなすばらしい賞をいただきまして、誠にありがとうございます。
ます。

これから上西すこやかクラブの活動、主として「放課後児童預かり事業」について発表いたします。

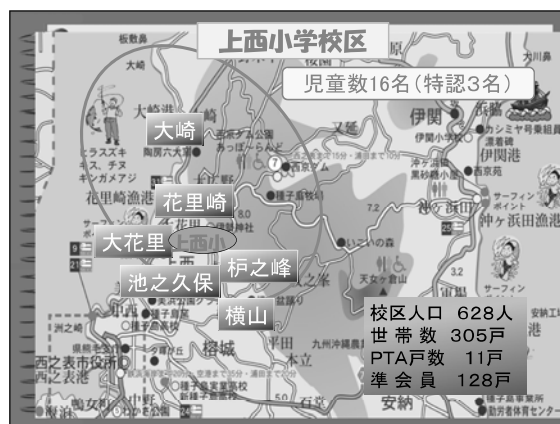
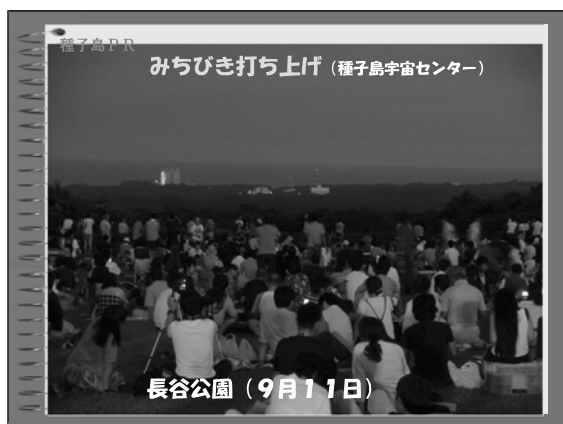
まず初めに、種子島のPRです。

9月11日に種子島宇宙センターから打ち上げられた「みちびき」の発射の様子です。

上西は宇宙に一番近い島、種子島にあります。

上西小学校校区は、西之表港から3kmほど北に行ったところです。

大崎・花里崎・大花里・池之久保・朽之峰・横山の6つの地域からなり、人口は約600人、約300戸数です。上西小学校の児童は現在16人。うち3人が近くの学校からの特認の児童です。



この写真は通学路の様子です。蜜がたっぷりでお菓子より甘い安納芋、南国情緒豊かなハイビスカスとサトウキビ畑、七色に変化するエメラルドグリーン的大海、子どもの教育には最高の場所です。

上西小学校は交通安全宣言校を実施していて、今年の9月5日に無事故4,000日を達成しました。

これはセレモニーの時の集合写真です。みんなで寄せ書きをして無事故の継続を誓いました。

上西小学校は特認校の学校です。近くの大きな小学校から特認の児童を募集していますが、現実的にはなかなか難しい状況です。これから紹介する「すこやかクラブ」の活動も、

◆活動事例（上西すこやかクラブ）◆

校区の児童増対策の一つでもあるのです。

上西すこやかクラブの発足についてです。

どこでも同じだと思いますが、共働きの家庭が多くなり、放課後の子どもの過ごし方が問題となりました。

保護者の願いとして「帰りが遅く、子どもだけで家にいるのが心配である」「仕事帰りに買い物をする時間が欲しい」などが出てきました。

そこで、校区でいろいろと話し合った結果、区長を代表として市の補助を受けて、「放課後児童預かり事業」を実施することにしました。市の補助は1回のみで、カーペットや机等の備品購入に充てました。

放課後児童預かり事業の概要は次の通りです。

- ① 対象児童は上西小学校の児童
- ② 活動場所は学校の隣にある区長事務所
- ③ 利用期間は授業のある日
- ④ 利用時間は午後4時から午後6時まで
- ⑤ 必要経費は保険料が年1,000円で、おやつ代が月1,000円です。

過ごし方については後ほど説明いたします。



放課後児童預かり事業は平成20年7月に発足しましたが、この新聞記事はその年の11月9日に南日本新聞に掲載されたものです。

活動場所である区長事務所の写真です。

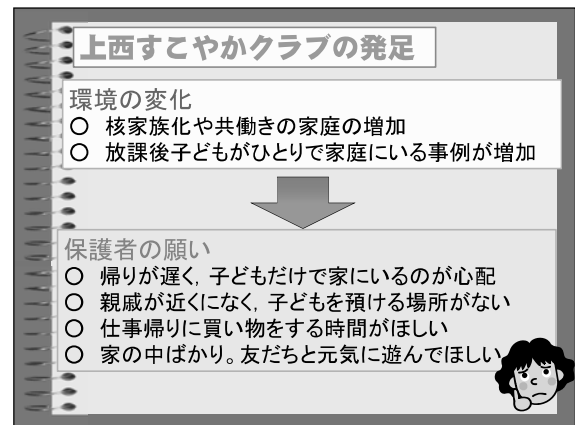
ガジュマルの木と上西すこやかクラブの看板が出迎えてくれます。

放課後児童預かり事業の指導員は現在8人、

その他学校関係、高齢者学級、校区役員が関わって活動しています。

発足当時から今年9月までの活動日数です。一昨年は134日、昨年は年間182日でした。今年も180日前後を予定しています。

すこやかクラブの活動は主に次の3点です。



今説明しました放課後児童預かり事業。これがメインになります。

2つ目が放課後児童預かり事業のための定例会。2カ月に一度学校か区長事務所で反省や確認の場を持っています。

3つ目が高齢者学級との共催で小学校児童とのふれあい活動です。昨年度は3回行いました。

① 春の1日遠足です。子ども達の海岸への遠足について行って、一緒にみなをとったりお昼を食べたりして過ごしました。

② 秋のミニ運動会です。子どもと一緒にゲートボールをしたり、水入れなどをして楽しみました。

③ 12月のしめ縄づくりです。子ども一人一人がこんな立派なしめ縄を作ることが出来ました。



すこやかクラブの日誌です。主に放課後児童預かり事業のための日誌ですが、学校とのやりとりのために非常に大切なものです。

ここからは、ある日の放課後児童預かり事業の様子を紹介します。

① 指導員は4時前に学校に子どもを迎えに行きます。

職員室で日誌を受け取った後、子どもがそろってから区長事務所まで連れて行きます。道路を挟んで学校と区長事務所があります。

② 区長事務所に着くと先ずおやつです。箱の中から好きなおやつを選んで食べます。

おやつを食べない子どもは持って帰ります。



③ おやつ後は学習の時間です。宿題や読書をしします。

高学年はこの時間だけでは宿題が終わらずに、家に帰ってからも続けることが多いよ

◆活動事例（上西すこやかクラブ）◆

うです。学習の様子をビデオでご覧ください。

- ④ 学習が終わると、中で遊んだり、ブロックをしたり、外で走り回ったりします。
- ⑤ 6時までに保護者が迎えにきます。

保護者の都合で遅れることもありますが大丈夫です。

子どもが全部帰ったら戸締まりをして、日誌を学校に届けて終わりです。

活動の成果は次の通りです。

学校のある日はほぼ毎日実施しています。

子どもはほぼ全員が利用しています。4月の段階で18人中16人でした。保護者から感謝されると同時に、放課後の安全な活動場所の確保にもなっています。

そして、指導員も生きがいになっています。子どもから先生と呼ばれ、子どもと接することで若返りにもなります。

活動継続のポイントとしては、やはり「気張らず単純に誰にでも出来ること」です。

指導員にも子どもにも生活の流れがわかって、毎日同じように活動できることが大切だと思います。そして、学校との連携も大切です。

毎日学校と日誌のやりとりをしていますので、子どもの生活指導にも役立っています。

今後の課題としては、指導員のさらなる確保。

そして、区長事務所の環境整備です。網戸がなくて夏は蚊やハエが多いです。建物も老朽化していますので、補助金をいただいたら環境整備に使いたいと考えています。

3つ目が指導員への謝礼です。毎回ボランティアですので、たまにはという気持ちもあります。

今後の活動としては、ほとんどの児童が2時間区長事務所に集まるわけですので、もっと上手な時間の使い方があるのではないかと模索中です。

例えば、お年寄りの知恵に学ぶ活動、種子島の民話の読み聞かせなどです。これは学校と連携していく必要があると考えています。

最後にすこやかクラブとは関係ありませんが、上西の特色としてPTA準会員制があります。子どものいない家庭をPTA準会員として、全家庭に毎月PTA会費を納めてもらっています。わずか16人の児童数ですが、校区全体でサポートし見守っているのです。

以上で、上西すこやかクラブの活動事例の発表を終わります。

ご静聴ありがとうございました。